



いのわしろ
し

発行所
福島県立猪苗代支援学校
969-3283
耶麻郡猪苗代町大字長田
字並柳西 3966-2
TEL 0242(65)2151
FAX 0242(62)5083

「ウェルビーイングの実現を目指して」



校長 猪俣康彦

日頃より、本校教育活動に御理解と御協力いただき、心より感謝申し上げます。

暖冬の今年は、穏やかな冬晴れの日が続いておりますが、例年校庭に造成する雪山の雪が不十分で、子どもたちのスキーやそり滑りをする元気な声が聞こえず、少し寂しい気がしております。

さて、タイトルにあります「ウェルビーイング」という言葉、お聞きになったことがある皆様もいらっしゃると思いますが、まだまだ聞きなれない言葉かと思えます。「ウェルビーイング」とは、様々な訳し方があるようですが、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを言い、「幸せ・幸福」と訳されることが多いようです。そして、今、国や県では、教育を通じて子どもたち一人ひとりと社会全体のウェルビーイングの実現を目指しております。

本校におきまして、ウェルビーイングの実現のために、子どもたちの学びの充実や職員の働き方改革とともに、地域の方々との連携・協働がたいへん大切であると考えております。地域の方々との連携・協働については、今までも様々な情報を発信しておりますが、一方向的に発信するだけでなく、受け取っていただいて、初めて意味のある発信となることから、より一層発信の工夫が必要であると考えております。また、私たちが地域を学びのフィールドとした取り組みを積極的に行うことで、子どもたちが地域での役割を担い、地域と共にある学校になっていくことが大切であると考えております。

昨年の五月に新型コロナウイルス感染症が五類へ移行したことから、活動の制限が緩和され、間もなく、一年が経過します。五類移行後の活動の在り方を検討しながら、より積極的に「地域との連携・協働」を図り、本校のウェルビーイングのみならず、地域のウェルビーイングに貢献してまいりたいと考えております。

小学部

「卒業おめでとう会」



3月6日(水)、1～5年生が作った飾りで華やかになった会場に6年生を招待し、「卒業おめでとう会」を行いました。思い出を振り返りながらゲームをしたり、いなっ子まつりのテーマソング「ダンスホール」をみんなで踊ったりして楽しみました。6年生へ手作りの花束をプレゼントし、6年生からも一人ひとりへプレゼントとお礼の言葉がありました。「おめでとう。」と「ありがとう。」が溢れる温かな会となりました。

「そり教室」



2月15日(木)に、ネコママウンテンにて小学部そり教室を実施しました。今年は例年に比べ雪が少なく、学校でそり滑りや雪遊びをする時間を確保することが難しかったため、当日は思う存分、広い場所でそり滑りを満喫することができました。何度も挑戦するうちに、ブレーキの掛け方が上達し、上手に乗りこなす姿が見られました。一人一人が満面の笑みで活動に取り組んでいました。

「スキー教室」



2月16日(金)に予定していた中学部スキー教室では、暖冬の影響で積雪がなく、残念ながらクロスカントリースキーは実施できませんでした。しかし、当日は代替活動として計画していた、カメリーナ(猪苗代町総合体育館)でのヨガ体験活動やキンボール、和みいな(猪苗代町図書館歴史情報館)での読書活動・見学などを実施しました。ヨガ体験活動では、呼吸の仕方やバランスの取り方など、ゆっくりと行うことで、リズムに合わせて呼吸をしたり、正しい姿勢を意識したりしながら活動に取り組む姿が見られました。終了後は「もっとやりたい。」や「楽しかった。」などの感想が聞かれました。また、和みいな(猪苗代町図書館歴史情報館)では、好きな本を見つけ、ゆっくりと眺めたり、読んだりする姿が見られました。大きな体育館で動と静の体の動きを満喫したり、たくさん本がある図書館で静かに集中して読書したりすることができた貴重な経験となりました。

【学校評価について】

教頭 佐々木文枝

今年度も学校評価アンケートへの御協力、ありがとうございました。教員、学校評議員、ばんだい荘職員、中学部・高等部の生徒は100%。保護者は八十六%の回答率と、昨年度より多くの方々から回答頂きました。結果を見ますと、「新型コロナウイルス感染症対策の徹底」の項目以外は評価ポイントが高いことから、学校経営・運営ビジョンが達成されていると評価されたと言えます。保護者の方々からの評価では、「社会生活に生かせる力を身に付け、自ら行動、発信できる児童生徒」「ICTを活用した効果的な学び」「公共交通機関・スクールの利用、安全を意識した行動の育成」「関係機関との連携・進路学習や進路情報の充実」「はあとふるタイムや校内外の教育相談の充実」等の項目で評価が高く、学校生活及び学習の取組については概ね満足いただけたという結果でした。

課題として、三点挙げられます。一つ目は、「楽しく登校できる学校」です。「学校が楽しい。」これは、教育における原点です。満足感や期待感をもって学ぶことができる魅力ある学校を目指し、児童生徒や保護者が、悩みや疑問について、教員に気軽に相談できるような温かい関係づくりの充実を図り、児童生徒が「わかった・できた」を感じられる授業づくりを工夫していきたいと思えます。

二つ目は、「読書活動で言葉の力が育っている児童生徒」です。自分の思いや考えを伝えたり、友達の思いや考えを知ったりする活動の充実、図書室や移動図書館の活用、読む活動の充実を図りたいと考えています。三つ目は、「地域への啓発、地域の方々の理解」です。地域に出掛けて学んだり、地域の方に来て頂いての授業を行ったりする取組、ホームページやnoteだけでなく、新聞や広報誌・回覧板等も活用し、地域へ情報を発信してまいりたいと考えております。

ウェルビーイング(一人一人の幸せ)の実現と、さらによりよい学校を目指し、職員一丸となって取り組んでいきます。

「情報モラル教室」



3月1日(金)に高等部情報モラル教室を実施しました。福島県警察会津少年サポートセンターから講師をお招きし、インターネット利用における「ルールやマナー」と「安全な使い方」について学習しました。トラブルや危険を未然に回避する方法、被害者としてだけでなく自分が加害者にもなり得る可能性もあること、スマホの約束6か条「あ.と.が.こ.わ.い」などについて具体的な事例を交えて御指導いただきました。生徒は講話に沿った内容の資料やワークシートを基に「実際に自分に起こったらどうしたらよいか」を考えてまとめたり、生徒同士で意見を共有したりしながら真剣に学習に取り組んでいました。



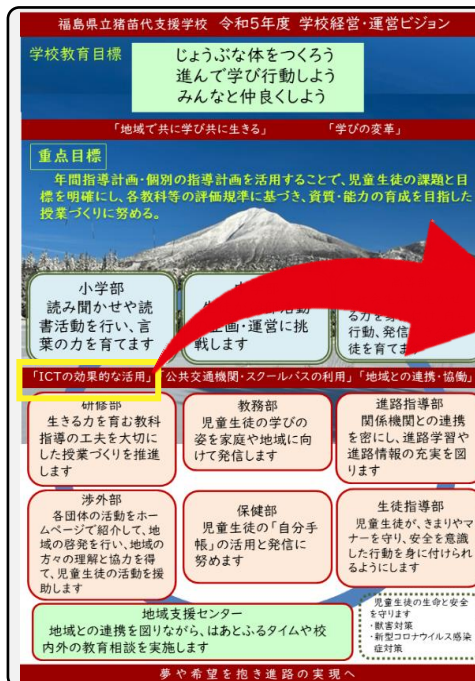
←猪苗代支援学校HP
本校の様々な取り組みを発信しております。

<https://inawashiro-sh.fcs.ed.jp/>



←本校「note」アカウント
児童生徒の取り組みや活動の様子を中心に発信しております。

<https://inawashirosh-shs.note.jp/>



高等部の総合的な探究の時間では、本校後援会長の佐藤弘一様から提案を受け、吾妻食品の万能調味料「うまくて生姜ねえ」のコラボ商品開発を行っています。生徒たちは授業の中でICT機器を用いて猪苗代町の特産品を調べ、町を盛り上げるための商品のアイデアを話し合っています。自分の希望するグループに分かれ、うまくて生姜ねえの味を変化させたり、猪苗代町を盛り上げられるパンやお菓子を考案したり、商品化できた際のパッケージを考えたりしています。生徒たちは、目を輝かせながらコラボ商品を考え、アイデアの失敗や成功を試しながら学習に励んでいます。

高等部 総合的な探究の時間

「うまくて生姜ねえ」とコラボ商品を開発しよう」